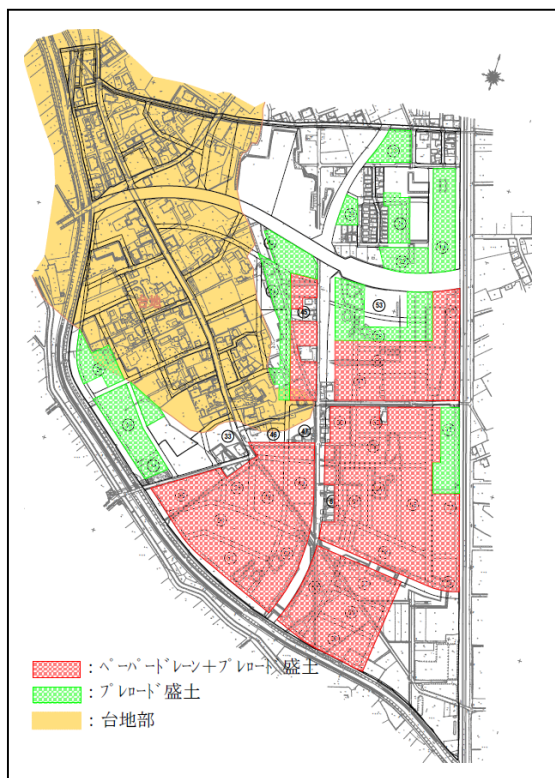


## 宮代町道仏土地区画整理組合の保留地（地盤）



### ○地区の概要

当地区は、埼玉県南東部に位置する田園地帯の新住宅地です。

地盤は、洪積層の「台地部」（左図茶色部分）と軟弱な沖積層の「低地部」（左図赤・緑部分）に分かれます。

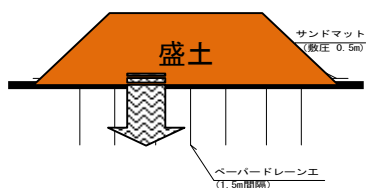
台地部は埼玉県中央部から続く大宮台地の東の端に当たり、埋蔵文化財調査でも古墳時代の住居跡など昔からの住居地であったことがわかっています。

低地部は主に水田として利用されてきました。このように、地盤にばらつきがあることから、それぞれの地盤を調査しエリアに分けて、住宅地に適するように対策を行っています。

### プレロード盛土工法



### プレロード盛土工法+ペーパードレーン工法



### ○地盤対策

軟弱地盤の沖積層では、建物荷重 $2\text{tf}/\text{m}^2$ （戸建3F程度）に対応できるように、圧密対策工法のプレロード盛土工法を採用しています。

また、圧密沈下を促進させ工期短縮を図るためペーパードレーン工法も併せて実施しました。

ペーパードレーン工法は、軟弱な地盤に、透水性のあるドレーン材を打設し、土中の水分を効率良く排水する事で、地盤の圧密を促進させ工期短縮を図る工法です。

当組合では安心して良好な住宅地を供給するため、住宅地に適した地盤としています。